

Ⅲ 事業展開

1 健全育成事業

1) 企画事業（企画行事・企画展示）

(1) 事業実施方針

- ・前年度末に実施した館内内装等改修工事後の明るくより楽しい雰囲気と児童会館の機能と特性を最大限に生かし、社会的テーマや話題、子どもたちの志向等を勘案しながら、金山総合公園（こどもの国）をはじめとする県有施設や関係機関と連携を図り、学校等の長期休暇に合わせて楽しく遊び学べる、魅力ある大型事業として実施する。
- ・子どもたちのボランティア意識の向上や異年齢児童の交流の場として、子どもたちの各種イベントへの積極的参加を呼びかけ、ジュニアスタッフの活動促進を図る。

(2) 事業計画

備考欄：新規－新、見直し－改

事業名	期間	時期	事業概要	会場	備考
ゴールデンウィーク企画	14日間	4月～5月	県内外に当館をPRできる大型企画事業として、こいのぼりをテーマにしたイベントを開催する	多目的ホール他	
夏の特別企画	20日間	8月	夏の大型企画として、幅広い年齢層の子どもたちが楽しめるものをテーマにして開催する。また、この期間以外にも単発のイベントを実施する	多目的ホール他	
こどもの国のお正月	6日間	1月	ジュニアスタッフやボランティアの協力を得て正月にちなんだ遊びや伝承あそび等を実施する	多目的ホール他	
もちつき大会	1回	1月	金山総合公園と連携して、お正月恒例のもちつき大会を開催する	エントランス広場	
春のこどもの国フェスティバル	14日間	3月～4月	小学校中高学年も楽しめる内容、またはその年に話題となっている物などを取り上げ実施する	多目的ホール他	
こども劇場	16回	随時	アマチュア劇団や地域のサークル、学生等による人形劇や音楽演奏、アクションショー等を行う	多目的ホール他	改
熱気球体験搭乗	2回	5月 9月	日常生活では経験することのできない、熱気球に親子で体験搭乗する	ダイナミック広場	
親子ふれあい自然活動	1回	6月	親子で自然にふれあう機会を提供する。父親の参加を積極的に募り、育児参加を促す	東毛少年自然の家	
ぐんまこどもの国にフォーミュラカー&小暮卓史がやってくる!!	1回	11月	群馬県出身のレーシングドライバーの小暮卓史氏を招き、レースに使用している車両展示や乗車撮影会、交通安全トークショー等を実施する。	ピロティ他	新
ぐんまこどもの夢大賞入選作品展	3週間 10日間	11月 12月	「ぐんまこどもの夢大賞」で募集した作品の中から入選作品を展示する また、県庁展望ホールでの展示も行い、県中部や西部地域の応募者の利便性を図る	研修室及びギャラリー 県庁	
こども映画祭	1回	12月	児童健全育成推進財団の協力を得て、優良な作品を取り上げて上映する	多目的ホール	
ぐんま母親クラブフェスティバル～ひかってるネおかあさん～	1回	5月	ぐんま地域活動連絡協議会と共催で開催し、県内で幅広い活動をしている母親クラブの紹介と発表を行う	多目的ホール、研修室他	
キャンドルナイト	2日間	6月 12月	金山総合公園と共催で開催する。キャンドル点灯式や屋外コンサートを行ったり、ビューラウンジを開放し、幅広い利用者層の拡大を図る	ピロティ、ビューラウンジ、公園	
ぐんまウォーターフェア	3日間	7月	群馬県他、関係機関と連携して、生活に欠かせない水や、水力発電所等の水資源施設の果たす役割についての理解を深めるための展示を開催する	多目的ホール	
クリスマスイルミネ	5週間	12月	金山総合公園と共催で、クリスマスから新年に	ビューラウン	

ーション		～ 1月	かけて、イルミネーション装飾を行い、幅広い利用者層の拡大を図る	ジ、1階ロビー、公園他
------	--	---------	---------------------------------	-------------

2) まなびランド事業（一般・講座・グループ事業）

(1) 事業実施方針

- ・食育月間を設け、地元企業や関係機関と連携して、食に関する興味・関心を高める内容の食育事業を実施するほか、館内でも各ランドで食育に関連した事業を行い食育の推進を図っていく。
- ・来館者が楽しく安全に利用できるよう、日々展示装置の点検、整備に努める。昨年度改修を行った展示物に引き続き、経年劣化した展示物についても、来館者が安全に楽しく利用できるよう、展示更新に向けて調査や研究を行っていく。また巡回型体験展示物等を利用し施設の充実を図る。
- ・ハイビジョンシアターでは、CS放送や優良な映画や作品の上映を行うほか、関係機関や企業と連携してサイエンスショーなどを実施し、映像の観覧だけではない多角的な利用の充実を図っていく。
- ・こども図書室では、現代の児童を取り巻く社会環境、利用者のニーズに合わせて、優良な図書の購入、普及に努める。また、来館者が利用しやすい図書室の環境作りを今後も進め、おはなしひろばの実施など環境を生かした事業を行う。

(2) 事業計画

区分	事業名	事業区分	実施回数	事業概要	会場	備考
食育の推進	ふれあい食育体験	一般	随時	6月の食育月間に地元企業や関係機関と連携して、正しい食知識の普及と子どもの食生活の改善に資する。また、館内でも各ランドにおいて食育関連事業を実施する	とりせん城西の杜 研修室他	改
サイエンスワンダーランド運営	常設展示	一般	通年	来館する児童に、常設の科学展示品を自由に利用してもらう 定期的な展示装置の保守点検を行う。昨年度改修した展示装置に引き続き、経年劣化した展示装置についてもさらに子どもたちの科学する心を刺激するような展示装置の更新に向け、委員会を設けて検討を進めていく 連携機関で行っている体験型巡回展示物についても積極的に申請を行い、魅力ある展示室作りを行う	常設展示室	改
	巡回展示	一般	随時	関係機関の協力を得て、巡回展示パネル等を借用して活用を図る	3階ギャラリー他	
	ハイビジョンシアター	一般	通年	幼児、児童向けに優良番組を選定してCS放送等による上映を行う。また映像の観覧だけでなく利用方法を積極的に行う	ハイビジョンシアター	
	おもしろ科学教室	講座	4回	県立生涯学習センターの開発したプログラムを、サイエンスインストラクターの会東毛支部の指導のもと、共催で実施する	研修室	
	太工フェア IN ぐんまこどもの国児童会館	一般	1回	県立太田工業高等学校の協力のもと、生徒が設計したロボットの操作や省エネカーの試乗など、参加体験型のコーナーを設ける	多目的ホール	
	太工の生徒による「ロボット教室」	講座	1回	県立太田工業高等学校の生徒が講師となり、高校教諭監修のもと、ロボット作り教室を行い、子ども達に物作りの楽しさを伝える。	研修室	新
	サイエンスショー	一般	随時	「プチサイエンスショー」 身近な科学現象を題材にしたショーを実演する	ハイビジョンシアター	
			1回	「スペシャルサイエンスショー」 講師を招いて、楽しい科学ショーを行う	多目的ホール他	
	科学講座	講座	6回	関係施設等と協力したり、企業と協働し、講師を招いて、専門的な科学の講座を開催する	研修室他	改
科学工作	一般	随時	身近な素材を使った、科学に関連した簡単な工作を行う	サイエンスワンダーランド		

		講座	1回	通常行う科学工作よりやや高度で時間を要する科学系の工作を行う	研修室	新
	集団利用	グループ	通年	団体利用プログラムに基づいて行う。科学工作や科学実験ショーなど、特色あるものを実施する	ハイビジョンシアターまたは研修室	
こども図書室運営	自由閲覧	一般	通年	月刊誌、絵本、児童書、育児書、紙芝居などの図書を、来館者が自由に閲覧する。また、定期的な棚卸しを行い、図書の適切な管理に努める	こども図書室	
	おはなしのへや	一般	10回	ボランティアの協力を得て、絵本の読み聞かせ、紙芝居の上演、手遊び、折り紙工作等を行う	第2研修室	
	ハイビジョンおはなしのへや	一般	6回	ボランティアの協力を得て、画像処理した絵本や紙芝居などをハイビジョンの大画面に映して、読み聞かせを行う	ハイビジョンシアター	改
	おはなしひろば	一般	10回	ボランティアの協力を得て、平日の午後、赤ちゃん絵本の読み聞かせや母親に向けた読み聞かせ、図書案内を行う。また、参加者同士の情報交換などが出来るような環境作りに努める	こども図書室	
	自転車紙芝居	一般	4回	ボランティアの協力を得て、公園等で自転車紙芝居舞台を利用して紙芝居上演を行う	公園またはハイビジョンシアター	
	絵本のワークショップ	講座	2回	読み聞かせの絵本にちなんだ工作等を開催する	研修室他	
	集団利用	グループ	通年	団体利用プログラムに基づいて行う。読み聞かせや、読み聞かせの後に簡単な造形ワークショップを行う等のプログラムを実施し、団体利用に対応する	ハイビジョンシアターまたは研修室	

3) あそびランド事業（一般・講座・グループ事業）

(1) 事業実施方針

- ・前年度末に実施したビデオライブラリーとパソコンルームのフロア改修及び機器更新に伴い、新たな遊びの展開と現在の子育て事情や保育、教育環境に照し、利用者のニーズに添った事業を取り上げ実施していく。
- ・施設の機能を活かしながら、良質の遊びのプログラムを提供し、楽しさと興奮を体験できる事業を展開する。
- ・子どもたちが、物を作り上げるということに興味を持ち、自分で考え、想像し、表現することができる空間作りを行うとともに、高学年児童や中高生が興味を持つプログラムも取り入れて事業を展開する。
- ・子育て中の親や祖父母、ボランティアなど、多世代の人々が集える場づくりを心がけ、健やかな子育てを支援する事業を進めていく。

(2) 事業計画

区分	事業名	事業区分	実施回数	事業概要	会場	備考
子育て支援（次世代・親世代）	いきいきママ講座	講座	8講座	子育て中の親や子育てに関わる人を対象に、様々な講義や実技を行い、よりよい子育て環境を整備する。また、関係機関と連携して託児を行う	研修室または多目的ホール	
	わくわくパパ講座	講座	2講座	子どもと接する機会の少ない父親を対象に、遊び方や子どもとの関わり方等の講座を土曜日または日曜日に開催し、育児参加を促していく	研修室または多目的ホール	
	おやこサロン	一般	27回	主に幼児と親を対象に、手遊びや親子遊び、パネルシアター等を行う。ボランティアの協力を得て、リトミックやリズム遊び等も積極的に取り入れて内容の充実を図る。終了後は多目的ホールを開放し自由遊びの場を提供する	多目的ホール他	改
	よちよちタイム	一般	8回	主に乳児と親を対象に、親子ふれあい遊びや手作り楽器遊び、パネルシアター、工作などを随時取り入れる他、情報交換と水分補給の時間を設け、参加者同士が円滑に交流できる環境作りを整える	第2研修室	改

	子育て伝言板	一般	通年	プレイルーム内に伝言板と質問箱を設置し、子育て等に関する質問や悩みを保護者等や職員が回答し掲示する。その他、子育てに役立つ情報なども随時紹介し、子育て中の親同士における情報交換の場づくりに資する	プレイルーム	改
	太田マザー&チャイルド	講座	12回	発達が気になる子どもや障害を持つ子どもと保護者を対象に、おもちゃを使った自由遊びや、体操・手遊びなどの集団遊びの場を提供する 東部保健福祉事務所と共催で毎月1回、11月はファミリーフェスティバルとして実施する	第2研修室 多目的ホール他	
プレイルーム運営	自由利用プログラム	一般グループ	7プログラム	各種大型遊具等を定期的に入れ替えし、自由遊びの場を提供する (定期的に準備休を設け、遊具の入れ替え、清掃点検を行う)	プレイルーム	
	おもちゃコーナー	一般	通年	各種優良玩具等を配置して、自由遊びの場を提供する。またオセロ、将棋等の遊具を配置し、自由遊びのコーナーを設ける (定期的に準備休を設け、遊具の入れ替え、清掃点検を行う)	第2研修室 2階ロビー	
	ふれあい広場	一般	通年	研修室を開放し、待ち合わせや昼食場所としての利用を促し、親子や親同士の触れ合いの場とする	第1研修室	
クラフトルーム運営	自由利用プログラム	一般	11プログラム	身近にある素材を使用した、幅広い年齢層に対応できるプログラムを実施する。造形コーナー、折り紙コーナー、落書コーナーも併せて設置する	クラフトルーム	
	季節行事プログラム	一般	随時	季節行事(こいのぼりなど)に併せて、幅広い年齢層に対応できるプログラムを実施する		
	わくわくブック	一般	随時	クラフトルーム内のプログラムに参加すると、1プログラムにつき1回スタンプを押し、12回スタンプをためると、過去好評だった手作り工作キット等をプレゼントする	クラフトルーム内	新
	わくわくワークショップ	一般	5回	自由利用プログラムでは体験できない工程過程の多い工作を行う。	第1研修室	
	造形教室	講座	8回	夏休み期間中や土日を中心に、陶芸用転写紙を使った簡単なやきものや、高学年児童や中高生が取り組めるプログラムを実施する。また集団で制作する楽しみが体験できるプログラムを取り入れて行う	第1研修室	改
	集団利用	グループ	通年	団体利用プログラムに基づいて行う。各種造形のプログラムを実施し、団体利用に対応する	クラフトルーム、研修室	
ビデオライブラリー運営	自由利用	一般	通年	優良なビデオやDVDを揃え、好きな番組を選び自由に視聴できる場とする	ビデオライブラリー	
	映像ワークショップ	一般	随時	優良な映像ソフトからテーマを決めて作品を選び、視聴後に映像に関係したワークショップを行う	ビデオライブラリー	新
	こども映画会	一般	随時	優良な16mm映画フィルムやDVDの上映を行い、大勢で楽しめる場を提供する	多目的ホール他	
	集団利用	グループ	通年	団体利用プログラムに基づいて行う。16mm映画フィルムやDVDの上映を行い団体利用に対応する	多目的ホール他	
パソコンルーム運営	自由利用	一般	通年	8台のパソコンで学習ソフトやお絵かきソフト、ゲームソフトを利用者が選択して体験できるようにする。また、2台のパソコンで常時インターネット自由閲覧する	パソコンルーム	
	パソコンプログラミング	一般	通年	2台のパソコンでアプリケーションソフトを利用し設計図通りにブロック等を組み立て、制作した物を動かす	パソコンルーム	新

パソコンクラフト	一般	5回	パソコンソフトやインターネットを利用して、ペーパークラフトやグリーティングカードなどの製作体験ができる機会を設ける	パソコンルーム
----------	----	----	---	---------

4) わくわくランド事業（一般・講座・グループ事業）

(1) 事業実施方針

- ・児童会館の特徴を活かし、子どもから大人まで楽しめるプラネタリウム番組の上映を行う。また、前年度末に実施した館内内装改修工事で壁面に描かれた星を効果的に取り入れつつプラネタリウムの機能を活かしたプログラムを積極的に取り入れ展開する。
- ・ボランティアや有識者、関係機関と連携し、子どもたちが天文や宇宙に興味・関心を持つような児童会館独自の番組の開発、更には県内のプラネタリウムの発展に努める。
- ・学年に応じた団体向けの学習投影を行い、幼児・児童の天文に対する興味の喚起や知識の習得を図るとともに、純粋に星を楽しむ空間を体験してもらう。
- ・こどもの体力増進事業の一環として多目的ホールを有効活用し、定期的に運動プログラムを取り入れていく。
- ・異年齢児の交流の場を設けるとともに、児童ふれあい交流促進事業の一環として高学年向けの講座を引き続き実施していく。

(2) 事業計画

区分	事業名	事業区分	実施回数	事業概要	会場	備考
健やかな体づくり	こどもの体力増進	一般	通年	ロッククライミングを有効活用するとともに、定期的に運動量の多い遊具を配置する	多目的ホール他	
		講座	1月	親子スキーバスツアーを実施し、親子の交流を図るとともに、スキーを通して体力増進を図る	軽井沢スノーパーク	
児童ふれあい交流促進	ふれあい仲間づくり	一般	随時	魔法の積木“カプラ”を配置し、自由遊びの場を提供する	多目的ホール	
			9月	大勢で協力しておりがみ作品を制作し、「全国児童館おりがみ作品展」に出展する	ロビー	新
		講座	通年	高学年児童の居場所的事業となるような講座や、レクリエーションを実施する	研修室他	
	集団利用	グループ	通年	団体利用プログラムに基づいて行う。”カプラ”を用いてワークショップを行い、共同製作の楽しさを体験してもらう	研修室、多目的ホール	
スペースシアター運営	プラネタリウム一般投影	一般	通年	高齢者まで幅広い年齢層で楽しめる一般向け番組と、こども向け番組を投影する	スペースシアター	
	星空散歩	一般	通年	土日祝日及び春・夏・冬休み等の特別期間に、季節の星空解説を主とした自主製作番組を投影	スペースシアター	
	プラネタリウムカップルデー	一般	12月	クリスマスにあわせて、カップルで来場した有料観覧者2人のうち1人に対して、招待券をプレゼントする	スペースシアター	新
	プラネタリウム企画投影	一般	4回	星空と音楽を組合せた星空コンサートや天体現象を取り上げた解説などを行う他、子どもから高齢者まで楽しめるプログラムも取り入れ実施する、	スペースシアター	
	天文観望会	一般	2回	県内のプラネタリウム等の関係機関と連携した一斉観望会と、太田市こども館と連携した昼間見える天体の観望会等を行う	スペースシアター、公園、太田市こども館	改
	星空観察「スターフレンド」	講座	5回	その時期に見える星や天文現象などを題材に、プラネタリウムやプロジェクターを使った解説のあと、実際に天体観測を行う	スペースシアター他	
	プラネタリウム団体投影	グループ	通年	幼稚園・保育園・小学校等の各種団体を対象に、当日見える星空の生解説や学年に合わせた学習番組を投影する	スペースシアター	

2 育成環境づくり事業

1) 交流・連携事業

(1) 事業実施方針

- ・児童健全育成活動に関わる様々な機関・関係者に働きかけ、児童健全育成の環境づくりを行い、健やかな子育て、親育ちのための支援を行う。
- ・県内の中核児童館としての機能を生かし、地域の児童館との連携・信頼関係を生かしたネットワークづくりを推進する。
- ・地域で活躍する方や施設ボランティアの協力を得ながら事業の充実を図るとともに、ジュニアスタッフの育成を促進する。

(2) 事業計画

区分	事業名	実施回数	事業概要	会場	備考
移動児童館	プレイバスの巡回	通年	県内各地域にわくわく号（プレイバス）を巡回し、多くの子どもが児童会館の遊びのプログラムを体験できる場を設ける	県内各所	
	児童劇団等の登録・派遣	通年	県内優良児童向劇団等を選定し、登録を行う		
6回		登録した劇団等を県内各地域に派遣して、鑑賞事業やあそびの出前として実施する。 「人形劇」や「マジック&腹話術」、「泥だんご遊び」等を実施予定	県内各所 及び児童会館		
多世代交流	多世代交流ひろば	随時	ベーゴマやめんこ、お手玉等の伝承遊びを配置し、多世代交流の場を提供する。また、年1回、関係機関と協力して、スペシャルとして開催する	研修室 多目的ホール	
児童館活動交流促進	群馬県内児童館フェスティバル	1回	県内の児童館が一堂に会して、地域の児童や児童館職員等の参加による各種行事を行う 県内10ブロックから幹事を選出し、幹事会を5回程度開催して内容を検討し、10月に実施	多目的ホール、研修室他	
	群馬県内児童館ミニフェスティバル	2回	「群馬県内児童館フェスティバル」で好評だった各種プログラムを、地域児童館で開催する	県内児童館	
	児童健全育成講演会	1回	一般及び児童健全育成関係者を対象に講演会を開催する。	多目的ホール他	
	児童厚生員等研修会	4回	児童厚生員、児童クラブ指導員等の資質向上を図るため、理論と実技科目の研修会を実施する	研修室他	
	遊びの指導技術開発研修	1回	児童健全育成関係者の資質向上を図るため新しい遊び等について研修会を実施する	多目的ホール他	
	児童館職員交流会	1回	児童館職員の資質向上を目指し、討議や意見交換等を行い交流を図る	研修室	
	児童館活動情報収集	随時	県内児童館の活動内容、利用状況等の情報を収集把握するとともに、各児童館等へ情報提供する ・群児連職員録の作成 ・児童館だよりの送付	—	
	遊具等貸出	随時	児童館活動に必要な大型遊具・映画フィルム・DVD等を取りそろえ、地域の児童館や健全育成関係団体等に貸し出す	—	
ボランティア育成	ボランティア運営	通年	施設ボランティアの募集・登録を行い、様々な事業での補助や自主企画などで活動してもらう	—	
	ボランティア活動促進	通年	ボランティア活動の成果を発表する場として事業化して支援する 「おもちゃの病院」 「人形劇であそぼう」、その他自主企画	第2研修室他	
	ジュニアスタッフ養成	通年	小中高生を対象に、ジュニアスタッフを養成し、子ども達の意見を取り入れながら、楽しい企画を	研修室他	

		立案・準備・運営を行う			
地域子育てネットワーク連携支援	地域子育て支援指導者等活動支援事業	1回	子育て支援センターや地域の子育て支援活動に取り組む地域子育て支援拠点や地域児童館、母親クラブ、主任児童委員等と連携して、子育て支援の課題を共有できる場としての実技講習会を実施し、意見交換や交流を通して、地域子育て支援活動の活性化を図るとともに、関係機関とのネットワークづくりを行う	多目的ホール、研修室他	
	子育てサロン・こどもの国 (母親クラブフェスティバル	11回 1回	太田市子育て支援ボランティアネットワークと協力し、遊びのプログラムや読み聞かせ、参加者との交流・相談等を行い、地域の子育て支援を実践する。 企画事業参照。	研修室他 多目的ホール等)

2) 児童文化推進事業

(1) 事業実施方針

- ・子ども文化の推進と豊かな情操を育むための場を提供する。
- ・異文化に親しみ、外国文化の理解を通して、子どもたちの心の成長を促すとともに、世界の国々や地球環境等へ目を向ける場の提供を行う。

(2) 事業計画

事業名	実施回数	事業概要	会場	備考
ぐんまこどもの夢大賞	通年	次世代を担う子ども達が未来にみる夢を絵画と童話作品を募集し、こども文化活動の振興を図る。 広報：6～7月、作品募集：8月、 作品審査：9～10月、表彰式：11月中旬、 入選作品展：11月中旬～12月上旬(児童会館) 12月中旬(県庁、10日間) 作品集作成：3月発行予定	多目的ホール、第1研修室、ビューラウンジ等 県庁展望ロビー	
異文化交流事業	1回	関係機関と連携を図り、外国文化に触れる機会を通して、文化の多様性を学ぶ場を提供する	多目的ホール他	
	随時	来館者にペットボトルキャップの回収を呼びかけ、関係機関をとおし、世界の子ども達にワクチンを提供する。	館内各所	改

3) 子育て相談事業

(1) 事業実施方針

- ・関係機関と連携して、1次相談窓口としての相談や指導にあたる。

(2) 事業計画

事業名	実施回数	事業概要	会場	備考
こども相談室運営	通年	来所や電話により、育児やしつけ等の子育ての不安や心配事に関する相談を行い、解決を図る	保健室	

4) 調査研究事業

(1) 事業実施方針

・児童会館を利用する方々の意見要望を聴取し、事業運営・プログラム内容の改善に努めるとともに、実施したプログラムを取りまとめ、地域の児童館をはじめ関係団体の活動促進に努める。

(2) 事業計画

事業名	実施回数	事業概要	会場	備考
事業年報発行	1回	開発実施した事業プログラムや年間事業結果をとりまとめ発行する	—	
来館者アンケートの実施	随時	事業内容や運営方法、施設・設備等について来館者から意見や要望を聴取し、今後の事業運営やプログラム開発・改善に活用する	—	
ご意見箱の設置	通年	「利用者の声シート」に利用の感想や要望を自由記述してもらい、より具体的な事業運営や施設管理の参考とする。	—	新

5) 広報啓発事業

(1) 事業実施方針

・当児童会館事業の周知や、児童健全育成に関する諸情報の提供を、県内市町村や関係機関と連携して、効果的かつ効果的に行う。

(2) 事業計画

事業名	実施回数	事業概要	会場	備考
「にこっと通信」発行	4回	児童会館の機関広報誌として、子育て情報等を掲載し、関係機関、団体及び来館者に配付する。	—	
「インフォメーション」発行	毎月	児童会館の事業案内を一般来館者及び報道機関等に情報提供する。また、関係機関と連携し、利用者に活用しやすい情報の発信に努める	—	
ホームページの運営	適宜更新	児童会館施設案内や最新イベント情報を掲載し情報提供する。併せて、移動児童館、団体利用、ボランティア情報、子育て支援事業、県内児童館情報やブログ等を充実させていく	—	
行政機関との連携	適宜	市町村発行の広報誌に、児童会館の事業案内やイベント情報等の掲載を依頼し、連携を強化する	—	

3 貸出事業

(1) 多目的ホール貸出

・ぐんまこどもの国児童会館の設置及び管理に関する条例に基づき、使用料を徴収し、多目的ホール及び付属設備を貸し出す。

(2) 研修室貸出

・ぐんまこどもの国児童会館の設置及び管理に関する条例に基づき、使用料を徴収し、研修室及び付属設備を貸し出す。

(3) ぐんま公共施設予約サービス

・ぐんま電子申請等受付システム（ぐんま公共施設予約サービス）を利用して、オンラインによる多目的ホール及び研修室の予約申請受付を行う。